

---

# 25年間の思い

もんつきはかま

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

25年間の思い

### 【Nコード】

N7945F

### 【作者名】

もんつきはかま

### 【あらすじ】

25年前に起きた出来事。心の中に静めていた思い。出せた。

25年前の出来事だった。その当時は小学校5年生の夏、授業が始まった。先生が本を読みながらまわり私の横で止まりいきなり私の椅子の足を蹴った。「えっ」と思い訳が分らず何も言わず離れて行った。それをきっかけに、みんなから無視される様になった。私は、椅子を蹴ったのが、先生の合図だとそう思った。それまではまったく、いじめのいの字もなかった。ずっと無視、クラスみんなから、そんな時先生に呼ばれ「あなたの親は出来るのに、何であんたはバカなの」私は、何も言えなかった。下を向いている事しか出来ず「何か言わんかア」と私を蹴った「顔も見たくない、行け」私は教室へ戻った。待っていたのは、クラスのみんな「ウザ、来るな、くさ」そんな声ばかりどんだん孤独になっていった。休む事も出来ない親に心配かけたくないから、絶えて耐えた。そんなある日、私の友達だった女の子が話し掛けて来てくれた「あのさあ」その後は蹴り暴力まで始まった。それでも2年耐えた。中学になれば無くなると思いつけた。中学に上がり悪夢が終わるかと思つた。中学に上がるのは、みんな一緒あきらめた、でも少し変わった。私のことを相手にしなくなった。友達がいなくてもそれだけでも十分だった。小学校2年間すーっごく長かったけれど、中学はそれに比べ半分の時間を感じた。友達はいなかったけれど、高校に入り不安な気持ちをおさえながら、学校へ友達も出来た。高校生活は楽しくてたまらなかった。でもいついじめられるか、不安な気持ちが心の中に半分以上は消えなかった。それから25年自分の中にしまい込んだ。でも今でも心の中から消えない、今大人になって今ならあの先生に言い返せた、今ならちがう先生に言えたそう思う自分がある。思い切つて妹話した、「だからだ、私もあの先生に嫌がらせ受けたよ」妹は水が嫌いで泳げなかった、あいつはそれなのにプールの真ん中まで連れて行き両足を持って溺れさせたと言う。私だけでなく妹まで、先生

の名前は今でも忘れない。絶対にあの先生、今でも他に私と同じようなめに合っている子供がいるかもしれない、あの先生のこととは絶対許さない。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7945f/>

---

25年間の思い

2011年1月16日01時25分発行